

第8回 生活・利用に関する検討部会 議事概要

◆日時：平成22年12月15日（水） 14:00～15:30

◆場所：石垣港離島ターミナル 第一会議室及び第二会議室

◆参加者：委員13名（内訳：個人2名，団体・法人5名，地方公共団体4名，国2名）

◆議事：

1 部会の趣旨確認および第1回～7回部会の概要説明

2 海域の利用ルールについて

① 海域利用全般のルールについて（本検討部会のまとめ）

② 安全確保のためのルールの検討状況（ルール化関係者協議会）

3. 報告事項

石垣港湾事務所からの航路計画検討状況の報告

◆概要：（以下、敬称略）

1 部会の趣旨確認および第1回～7回部会の概要説明

特になし

2 海域利用のルールについて

① 海域利用全般のルールについて（本検討部会のまとめ）

通事氏（県）：私は利用現況に関して議論した時には未だ赴任していなかったため、どのような議論がなされていたのか教えて欲しい。

嶋倉所長：参考資料にあるため、参考にして欲しい。

鹿熊氏：ダイビング利用のところに書かれているが、少し混乱しているのは海中公園の法律は多少異なる。水産関係は水産資源保護法、海中公園は自然保護法に規定されている。

佐藤氏：今年の4月に自然公園法が一部改正されており、海中公園が海域公園となっており、漁獲制限に対する事項があまくなっている。また海域公園内で利用の規制ができる法律となった。

上原氏：ダイビングとの協定は個人でなく八重山漁業協同組合と行うことになるので誤解を招かないようにして欲しい。

通事氏（県）：海域公園とは名称が変わったということだけなのか。観光振興の面で問題はないのか。

佐藤氏：ここで規制をかけようというはっきりしたことは決まっていない。規制をかける際には漁業者の方とか色々な方面で調整して行く予定である。

② 安全確保のためのルールの検討状況（ルール化関係者協議会）

平安名氏：共通チケットを共同チケットに変更して頂きたい。経費節減のために役立っていると思う。便数も少なくなり安全面においても貢献していると思う。

上勢頭氏： みんなに喜ばれていると思う。

通事氏(町)： 大変素晴らしいと思う。

大野氏： 航路の地図を見て気がついたが、小浜の北航路については近くて便利であるが、もう航行しないということなのか。

嶋倉所長： 赤い場所を主点に考えており、離島間の詳細はこれからである。

大野氏： 赤いルートはレジャー船は含まれないのか。旅客と貨物だけか。

嶋倉所長： レジャーで使用している部分もあるが、まず八重山漁業協同組合と港湾関係に周知して欲しいと考えている。

上原氏： モズクと潜りの場所については自粛して欲しいというお願いをして行く予定である。これをスタートとして考えて行きたい。

上勢頭氏： これからも情報提供をお願いしたい。

鹿熊氏： 共通チケットの話も含め、この内容は高く評価したい。このようなルールが他の航路にも広がって欲しい。多少気になるのは「海域利用の調整内容」の中で「減速」という言葉を明記した方が良い。逆に漁業者の話として、図中黄色であれば「できるだけ」という表現はなくても良いのではないか。

上原氏： たこ漁の操業も考えて、このような表現にして欲しい。組合としての理解も得られやすいと思う。

嶋倉所長： 表現方法について、今のご意見を反映して再検討したい。

通事氏(県)： 共通チケットの件で、同じ時間帯に出入港しているのか。

平安名氏： 八重山観光さんと協議して、利便性を落とさずに配慮している。

通事氏(県)： 急患等が発生した場合、船を利用した方が良いと思うが実態はどうなのか。

平安名氏： 実際に急患は運んでいる。

鹿熊氏： 最後のページの拡大図でこのように直角には曲がれないということを説明しておいた方が良い。

嶋倉所長： 深い部分は航路指定がいらないので、この辺を考慮してどこまで指定されるかは未だわからない状況である。

3. 報告事項 石垣港湾事務所からの航路計画検討状況の報告

佐藤氏： パブリックコメントに対する回答はホームページに掲載されているのか。

嶋倉所長： 全ては掲載されていない。

佐藤氏： 今後の予定について教えて欲しい。

嶋倉所長： 海域内で試験工事をやりたい。特に濁りの発生の度合いを確認したい。サンゴを掘削する事例がないということと、サンゴの移植もあるからである。

通事氏(県)： 8ページの航路の幅員・深さについて、地域のサンゴに与える影響は検討しているのか。

嶋倉所長： 規模の航路をできるだけ削減されており、環境配慮は計画段階でできていると考えている。砕波に関する影響はないと考えている。

以上